



だんだん暖かくなってきましたね。

ワンちゃん達も毛を短くサマーカットされ涼しそう。

この時期はワンちゃん達の予防期間に入り、元気な子たちも

たくさん来てくれるので病院の中が賑やかになります♪

待ち時間が長くなることもありますが、ご理解とご協力を

よろしくお願い致します。

6月からフィラリアの予防期間に入ります。

もう一度フィラリアについておさらいしてみましょう！！

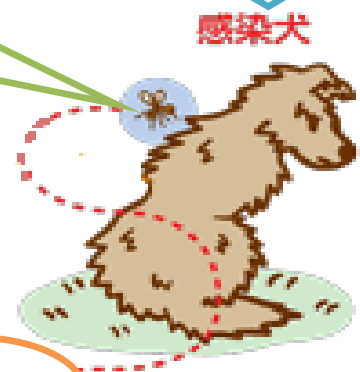
<どうやって感染するの？>

② 蚊が感染している犬を吸血した時に蚊の体内にマイクロフィラリアが入り、感染能力のある幼虫へと成長します。

① フィラリアに感染している犬の体内にはフィラリアの成虫とマイクロフィラリアがいます。



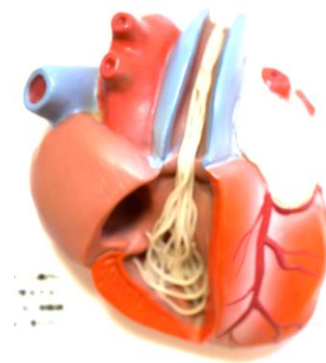
③ 感染能力を持った蚊が正常犬を吸血した時にフィラリアの幼虫が正常犬へと感染します。



<感染するとどうなるの？>

- フィラリアは肺動脈や心臓に寄生します。
- 成虫になると最大 30 c mにもなる

糸状の寄生虫です。



- 多数寄生することで血液の流れが妨げられ、様々な障害が発生し、放置すると死にいたることもあります。

～おもな症状として！～

せきが出る 呼吸が荒くなる 食欲がない
尿が赤くなる お腹が膨らんできた 元気がない

そうならないために毎年6月～12月まで
予防薬を飲ませましょう。

<5月頃から蚊が出ますが、投薬は6月から大丈夫。

きっちり最後の月まで毎月予防しましょう。>



※予防薬を飲ませる前に検査が必要です。

感染していることを知らずに予防薬を飲ませてしまうと、一度に大量のフィラリアが駆除されることでショック症状を起こし、最悪の場合は死にいたることがあります。